

達成度：H29.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

企画財政課の目標（平成28年度）自己評価書

企画財政課長 岡野 義広

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 総合計画の策定（企画総合調整班） 第5次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、前期基本計画等の施策・事業の効果を検証し、後期基本計画を策定します。</p> <p>2 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進（企画総合調整班） 町の実情を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、昨年10月に策定した酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策・事業の進捗状況等を検証し、地方創生の推進に積極的に取り組みます。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>第5次酒々井町総合計画前期基本計画に掲げる主な事業の進捗状況、達成度や住民ニーズ、社会状況の変化等を踏まえ、各施策の継続的な見直しや改善を図り、事業を効率的に推進することとなる後期基本計画を平成29年3月に策定しました。</p> <p>酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けている各事業を積極的に推進するための、地域再生計画「酒々井町100年安心して住めるまちづくりプラン」が国より認定されました。これにより地方創生推進のための各種交付金を活用し、地方創生を実現する各種施策を効率的に取り組むための基盤づくりを整備することができました。</p> <p>また、酒々井・千葉氏まつりの成功や地方創生の各種事業をスムーズに展開し実行することができました。</p>

<p>3 町プロモーション活動の推進（企画総合調整班）</p> <p>酒々井町は、緑豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、史跡や神社・仏閣などが多い歴史のある町であるとともに、公共交通機能も整い住環境に恵まれた魅力あるコンパクトな町であり、日本でいちばん古い町として歩み続けています。その“ふるさと 酒々井町”を全国に情報発信するため新たにアニメーションなどのPR動画の制作に取り組みながら、各関係機関・団体やメディアなど各方面へのシティプロモーション活動を実施します。併せて、インターネット、SNSなどの新たな情報発信の方策等について具体的に検討します。</p> <p>4 町マスコットキャラクターの活用（企画総合調整班）</p> <p>町のブランド力を高める魅力づくりや「郷土・酒々井」に愛着と誇りを持ち、住んでよかったと思える、満足度の高い自立したまちづくりを進めていくため、その推進役となる町マスコットキャラクター「井戸っこ（しすいちゃん）」を積極的に活用することで、町民の郷土愛を育むとともに町のイメージアップを図ります。</p> <p>5 交通事情等をふまえた交通環境の改善に向けた総合的な検討（企画総合調整班）</p> <p>町内の交通事情等を把握し、円滑な交通と歩行者などの安全な通行等、交通環境の改善に向けた対策案などを検討します。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>井戸っこしすいちゃんのアニメ版町PRビデオを制作し、町民等にお披露目し、町民へ郷土愛の醸成を図るとともに広く情報発信することができました。</p> <p>京成電鉄(株)や NEXCO 東日本等の企業へのトップセールスを実施することで、効果的なまちづくりの推進に向けた官民の連携を図る機会を創出し、シティプロモーションの取組みを進めました。</p> <p>庁内ワーキングチームを中心として、SNS等新たな情報発信の方策等の有効性と導入方法等について調査研究を継続して行いました。</p> <p>酒々井・千葉氏まつりをはじめ、町内外のイベントに参加し、日本でいちばん古い町酒々井町のまちづくりについて積極的にPR活動を行いました。また、町内の子どもたちとふれあい郷土愛醸成に努めました。</p> <p>新たな方策等について調査研究を進めるとともに庁内関係部署との情報等共有に努めました。</p>
---	----------------------------	--

<p>6 広報活動の充実（広報広聴班）</p> <p>(1) 広報ニューしすい、広報ニューしすい Young Eyes の購読者の拡大に努めていきます。読者に興味を持っていただくために、常に新鮮な話題と情報を提供できるよう関係部署と連携して情報収集に努めます。</p> <p>(2) 町ホームページ上で毎年更新している「くらしの便利帳」、「町政便覧」について、最新の情報掲載をいたします。</p> <p>(3) 広告収入としての「有料広告」の件数の拡大を目指していきます。そのため、引き続き事業者への周知を図るとともに、広告の効果が最大限に依頼主に還元されるよう広告主の希望を取り入れ、効果的な紙面を作成できるよう努めます。</p>	<p>4</p>	<p>(1) 関係部署と連携して、広報ニューしすいで町の取り組みや政策課題などの行政情報を提供できました。</p> <p>広報ニューしすいをスマートフォン・タブレットで閲覧できる「広報紙」マチイロを昨年2月に開始してから登録者数も平成29年3月末で約300人となりました。</p> <p>(2) 町のガイドブックとして町民の暮らしに役立つ情報をまとめた「くらしの便利帳」と行政機関として発信する情報をまとめた「町政便覧」について、関係各課の協力により最新の情報に更新しました。</p> <p>(3) 有料広告の件数の拡大のため、広報ニューしすい・町ホームページに掲載希望者を募る記事を掲載し、22件の有料広告を掲載できました。</p>
<p>7 広聴活動の充実（広報広聴班）</p> <p>広聴活動は、町政に対する提言等を聴き、よりよい町政運営を推進する上で重要な役割を担っています。引き続き関係部署と連携して的確な広聴活動の周知を図ってまいります。</p>	<p>4</p>	<p>法律相談や心配ごと相談など各種相談事業を含めて、広報ニューしすいや町ホームページに掲載し、町民に的確な広聴活動の周知を図りました。</p>
<p>8 統計事務の充実（広報広聴班）</p> <p>今年度は、「経済センサス-活動調査」の1調査が行われます。近年の大型商業施設のオープンに伴い調査範囲は拡大する中、町内35調査区を8名の統計調査員で約750の企業・事業所に調査票の配布及び回収等を実施します。的確かつ正確な統計結果を得るために、統計調査員の役割は非常に重要であるため引き続き指導していくとともに統計調査員の人員確保に努めます。</p>	<p>4</p>	<p>経済センサス-活動調査について、8名の統計調査員が約2カ月間にわたり町内企業・事業所に調査票の配布及び回収等の業務を実施しました。</p> <p>約700の企業・事業所から調査票の回答を得ることができ、県の提出日までに調査票等の提出ができました。</p> <p>調査期間中、調査員に大きな事故や怪我はなく無事に調査を終えることができました。</p>

<p>9 財政健全化の推進（財政班）</p> <p>財政の健全化を図ることが重要であることから、全体事業を見直しながら、簡素で効率の良い予算執行を指導します。予算編成に当たっては、酒々井町財政健全化計画により、現状を把握しながら歳出の削減と歳入の確保に努め、財政の健全化に努めます。</p> <p>10 使用料・手数料の見直し検討（財政班）</p> <p>消費税の増税等に伴い今後の町の使用料・手数料の見直しについて方針を決定の上、その方針に沿った取り組みを進めます。</p> <p>11 ファシリティマネジメントの推進（管財班）</p> <p>平成28年3月に策定した酒々井町公共施設等総合管理計画の方針に沿って、公共施設等の計画的な管理を推進するために、個別の施設ごとの維持・更新等に関する計画を、順次、策定します。</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>財政健全化判断比率については、各比率とも健全レベルにありますが、今後の人口減少・少子高齢化による社会保障費等の増大に配慮し、特に地域福祉基金・減債基金等への積立を行いました。</p> <p>消費税の増税延期に伴い、使用料・手数料の見直しも機会を失い、引き続き見直しの時期を見据えながら検討を行いました。</p> <p>関係各課等への照会や酒々井町ファシリティマネジメント戦略会議の開催等により、酒々井町個別施設計画を策定しました。</p>
---	----------------------------	--